

その咳、 本当に風邪ですか？

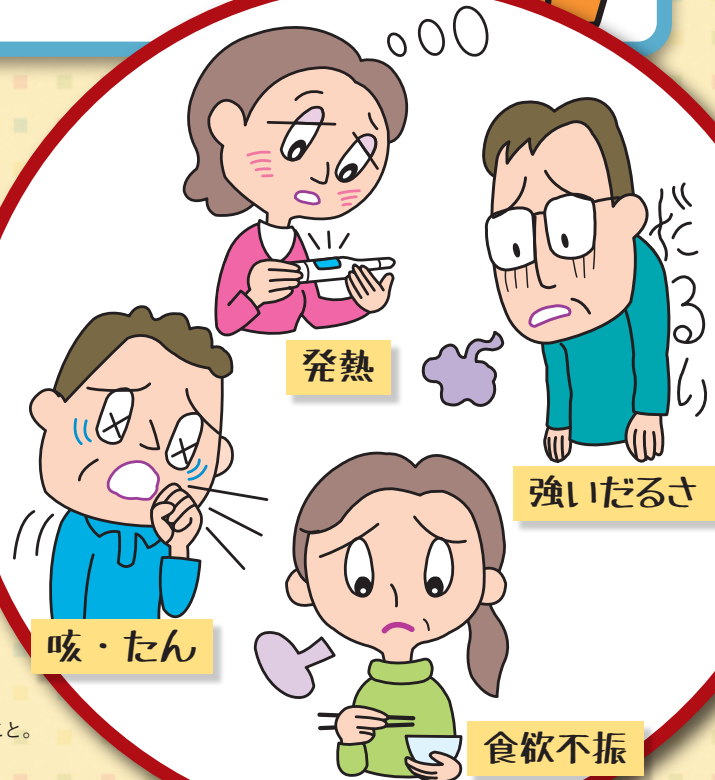
日本で、1日に62人が
新たに診断されている病気、
それは「結核」です。
結核は過去の病気ではありません。
都内では年間約3千人の
新たな結核患者が発生しており、
そのうち働き盛りの世代が3分の1を占めています。
結核はどの年代の方も
かかる可能性のある病気です。



結核ってどんな病気？

- 結核は、結核菌を吸い込むことでおこる感染症です。ただし、患者さんが排菌※していなければ、周囲に感染させる心配はありません。また、部屋や患者さんが使った物の消毒も必要ありません。
- 感染した人の1～2割が発病すると言われています。多くは感染後6か月から2年で発病しますが、感染後長い期間を経てから発病する場合があります。
- 発病すると多くは、咳、たん、発熱等の症状が出ますが、風邪の症状に似ているため、発見が遅れることがあります。

※排菌：結核の病状が進行し、患者さんが（結核菌を外に出し）他の人にうつすようになること。



2週間以上咳が続く場合は医療機関を受診しましょう

特に「咳」「たん」「発熱（微熱）」「食欲不振」「体重減少」「寝汗」「強いだるさ」などの症状が続く人は、結核の可能性も考え、胸部レントゲン検査を相談しましょう。

結核は適切に服薬治療を行えば治る病気です。

日頃できること

●定期健康診断の受診：

定期健康診断を受診するとともに、精密検査が必要と言われた場合も、必ず受けましょう。
症状がなくても、定期健診で結核が発見されることがあります。

●健康的な生活：

規則正しい生活を送りバランスの取れた食事や十分な休養、睡眠をとりましょう。
また、禁煙を心がけ、無理なダイエットに注意しましょう。

咳が出るときは 「咳エチケット」!

●咳、くしゃみなどの症状があるときは、
マスクをしましょう。

●咳、くしゃみなどがとっさに
出そうなときは、口と鼻を
ティッシュなどで覆いましょう。

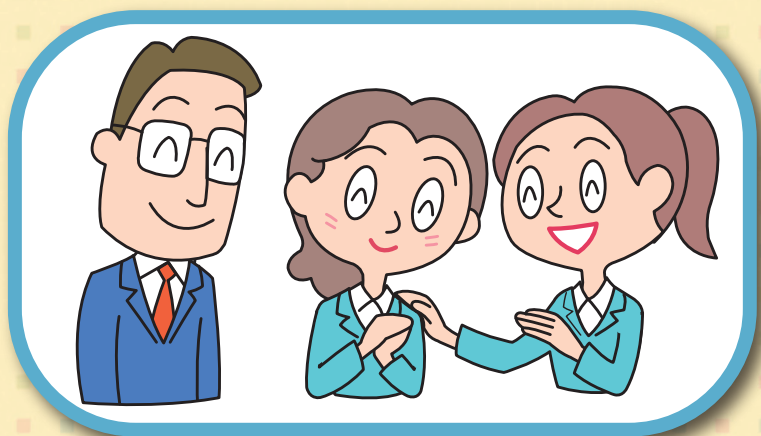
●咳、くしゃみをするときには、
人から離れ、顔をそらしましょう。

●たんや鼻水に触れたときや
帰宅したときは手を洗いましょう。



周りの人が 結核と診断されたら

患者さんが学校や職場に戻ってきた時は、
周りに感染させる心配はありません。
患者さんを温かく迎えてください。
私たち一人ひとりが結核についての正しい知識を持ち、
患者さんが安心して治療できるよう支えましょう。



結核に関して心配なことがあれば、

お住まいの保健所

又は

東京都福祉保健局
健康安全部感染症対策課結核係
☎03-5320-4483

までお電話ください。